

2014年2号: interpack の会場から

今回は、interpack の会場から欧州包装 NEWS をお届けします。ぜひ、お頼みください。

第1部: 欧州包装業界のトレンド

1958年に初めて開催されてから、interpack はメッセの規模や国際性がかなり変更してきた。一回目の時、9ヶ国から255社の出展企業が32,000人の専門ビジターと商談したことに対して、今年の interpack は、60ヶ国から約2,700社の出展企業がデュッセルドルフのメッセ会場ですブースを作り、174,000㎡の面積をとっている。来場者数が16万人を超えると予想される。しかし、時間が立てても、一つの特性が変更なしに有効つつあります: interpack は、業界のトレンドを反映する。今回のメッセも例外ではないので、ここでいくつかの目立つトレンドについて案内する。

トレンド: 軽量化

環境保護やコスト削減と関わっている軽量化の実例は、数多くみられる。例えば

- ドイツのクロネス(KRONES)社(H14/E29)は、たった9.9グラムを図るPETボトルを紹介。また、デジタル印刷機械によって直接容器に印刷するので、ラベルと接着剤も不要なので、減量化に貢献。

トレンド: よりコンパクトな容器

人口推移によって、ヨーロッパでも単身世帯の数が増え、特に食料品・飲み物において容器のサイズが少なくなる傾向が明らか。(日本は、結局買い物の週刊と冷蔵庫のサイズによって、ヨーロッパより先駆けていると思われる...)。話題になっている企業は下記を含む:

- フランスのBTC Concept社は、運送にやさしい、小型ボトル3本をまとめる「Bottleclip」コンセプトを紹介。もう一つのメリットとしてあげられるのは、消費者が必要に応じてボトルを開けるため、飲料の無駄が避けられること。



(写真の出典: www.packagingeurope.com)

- KarlKnauer社(H11/B29)は、容器の減少化を「将来のメガトレンド」として発表され、それに相当する箱を開発。

トレンド:安全性・トレーサビリティ

医薬品の分野において、暗線に関わる規制がますます厳しくなっている。また、食料品の場合、トレーサビリティが重要になっている。下記の企業が話題になった:

- ドイツの Bosch Packaging Technology (H6/A31)は、日本のエイザイ社から買収した検査機器部門を今回初めて「Bosch Inspection Technology」として出展させた。今回の出品物は、液体にある粒子を検査する機会が重要である。
- イスラエルの Tadbik 社 (H9/C36)は、イスラエルの優勢なラベル・包装ソリューションプロバイダーがと主張し、RFID ソリューションを広いブースで紹介している。

パッケージングの高級化

パッケージングの高級感アップについて、⇒[欧州包装 NEWS2014年1号](#)すでに報道した(Hoffmann 社、H11/A40-4)が、その他にあげられる出展者は、次を含む:

- 数多くの賞を受賞した Edelman 社 (H11/A14)は「High Q Packaging(高質包装)」というスローガンで、包装の高級化と包装にインテグレートされるマルチメディア(ビデオを表示する画面、音楽を流すデバイス、など)を紹介。
- KarlKnauer 社 (H11/B29)日本でも販売されている「Bombay Sapphire」ジンの販売促進として、輝きに変化するアニメーション効果を付加した箱を開発・導入(⇒[欧州包装 NEWS 2013年4号](#)も報道)。

第2部:産業情報

包装機械産業の統計

ドイツの包装機械産業は、

- 世界中に売上高がもっとも高い。
- 生産が 2013 年も(4 年連続)増加し、約 120 億ユーロ(2013 年の年末の時点、1 兆 7344 億円に相当)に達成。
- 輸出率が 85%！輸出先は 100 ヶ国を超え、主にヨーロッパ(輸出の 47%)、米国と中国。
- 従業員が 57,500 人で、参加企業が約 650 社。

ドイツの製菓機械業界は、

- 世界中に、売上高がもっとも高い。(世界市場のマーケットシェアが約 40%)。
- 輸出ももっとも高く、2013 年に 3 億ユーロ(2013 年の年末の時点、433)億円に相当)に達成。
- 主な輸出先の国々は、ロシア、米国、中国とインド。

第3部:メッセ情報

メッセ情報

今回の interpack は、世界各国から約 2700 の企業が出展します。日本からはジャパンパビリオン(8社)を含み 29 社が直接出展参加します。日本からの出展社のダイレクトリーは下記の URL から:

<http://bitly.com/EXH-JP>



【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 【編集担当】メルケ 【メッセ担当】山本

info@messe-dus.co.jp // <http://interpack.messe-dus.co.jp> // <http://www.messe-dus.co.jp>

